

経営比較分析表（令和5年度決算）

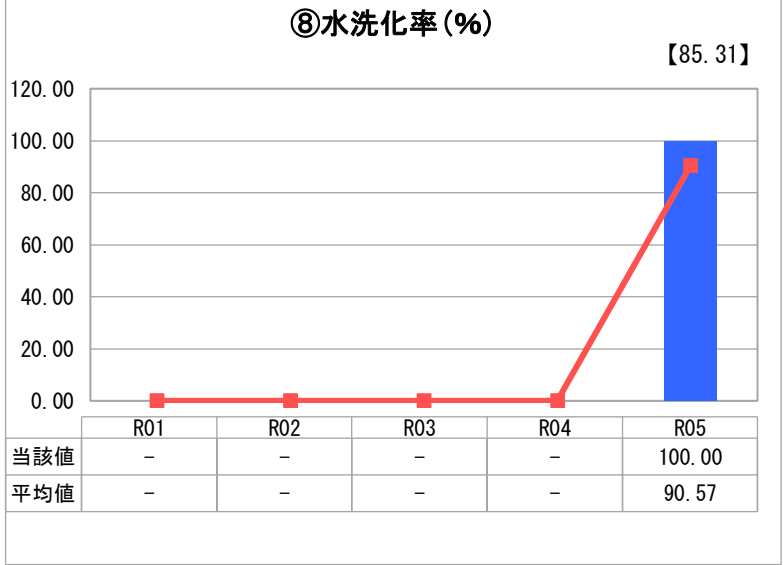
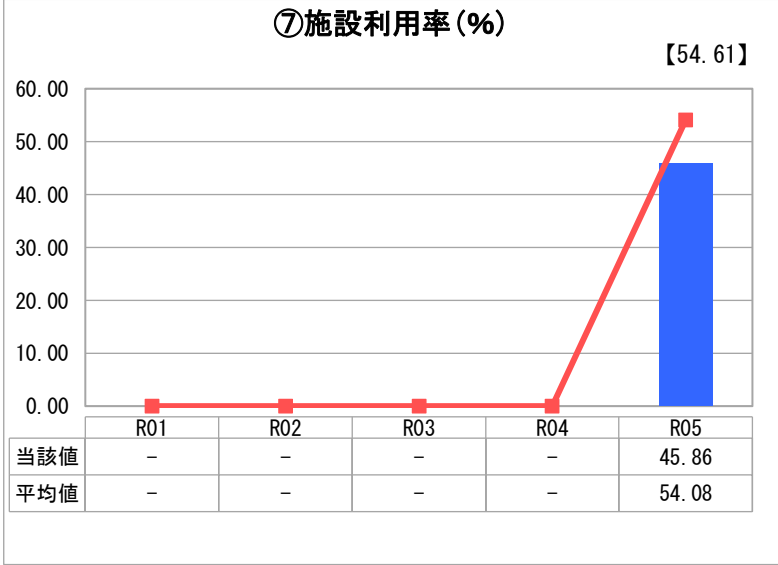
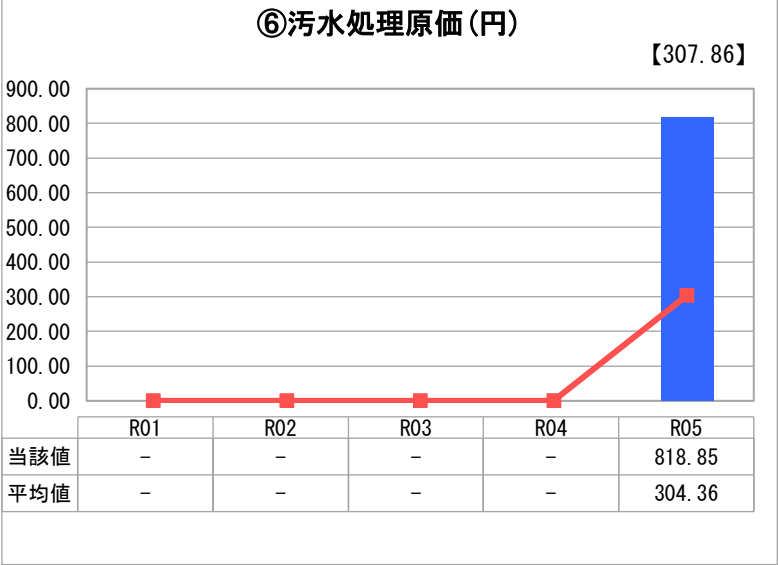
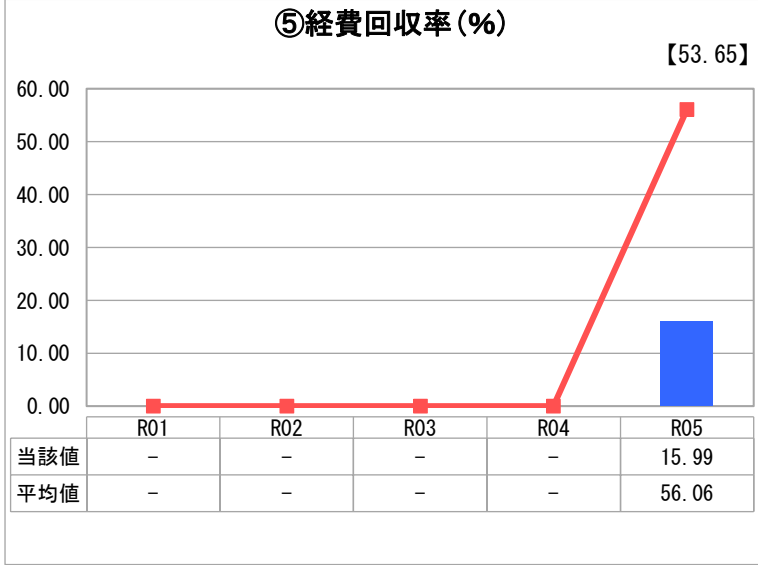
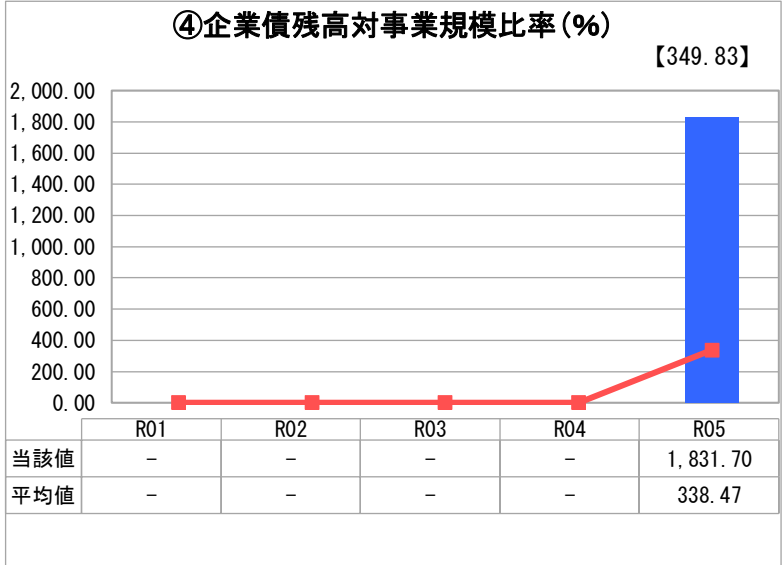
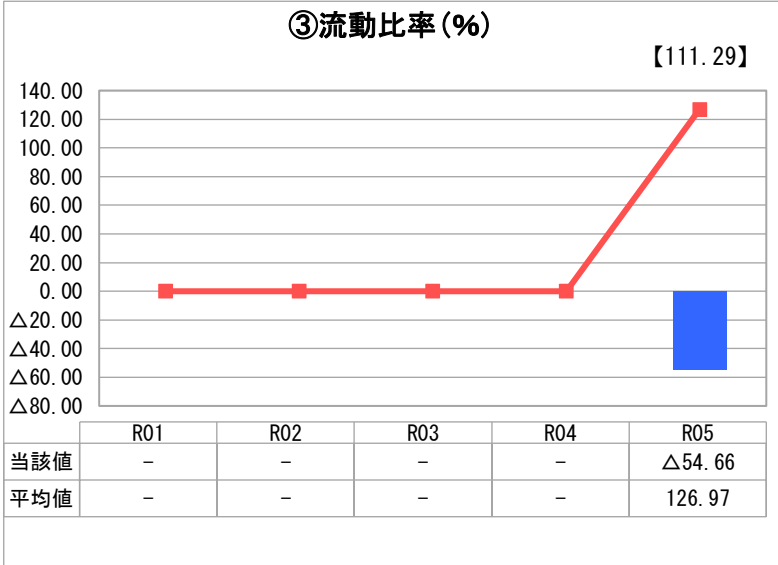
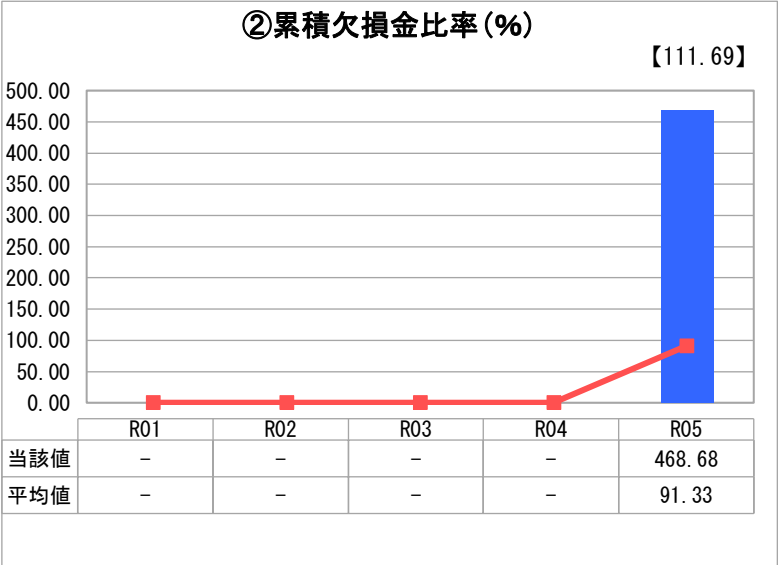
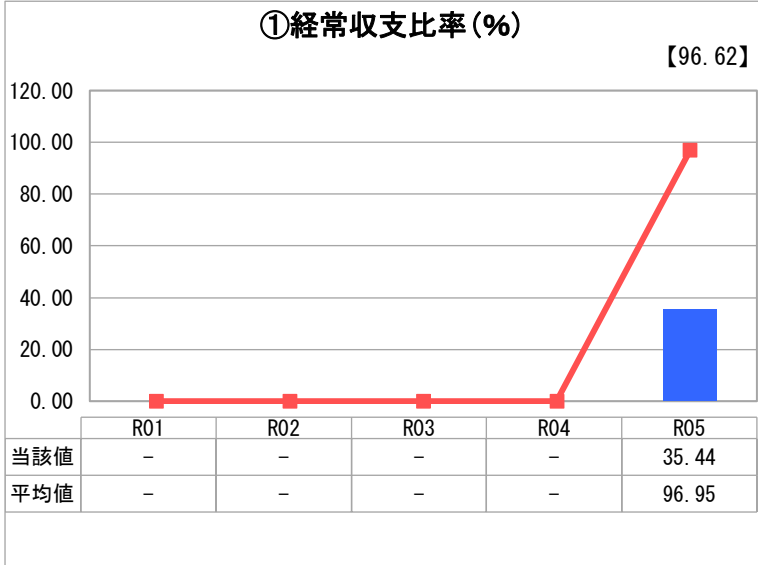
宮城県 仙台市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	28.96	0.44	100.00	1,760

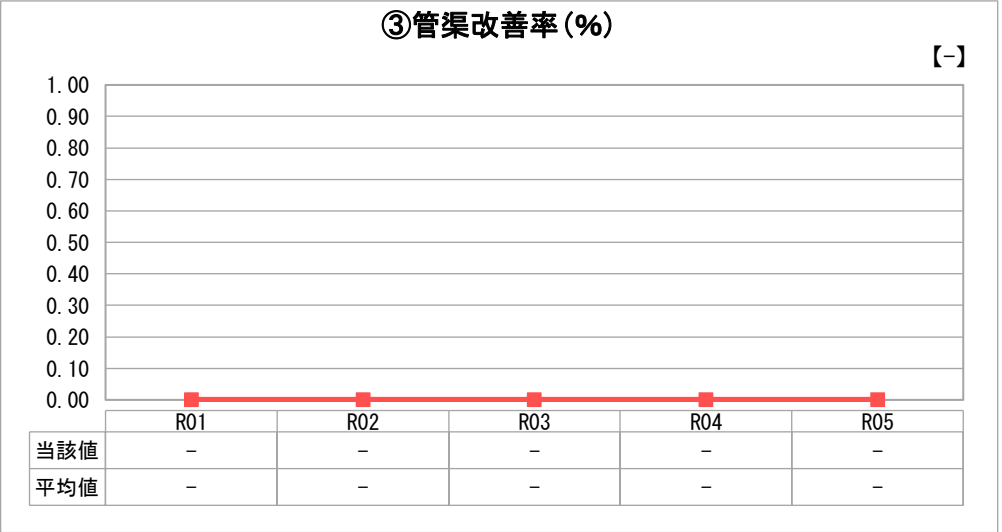
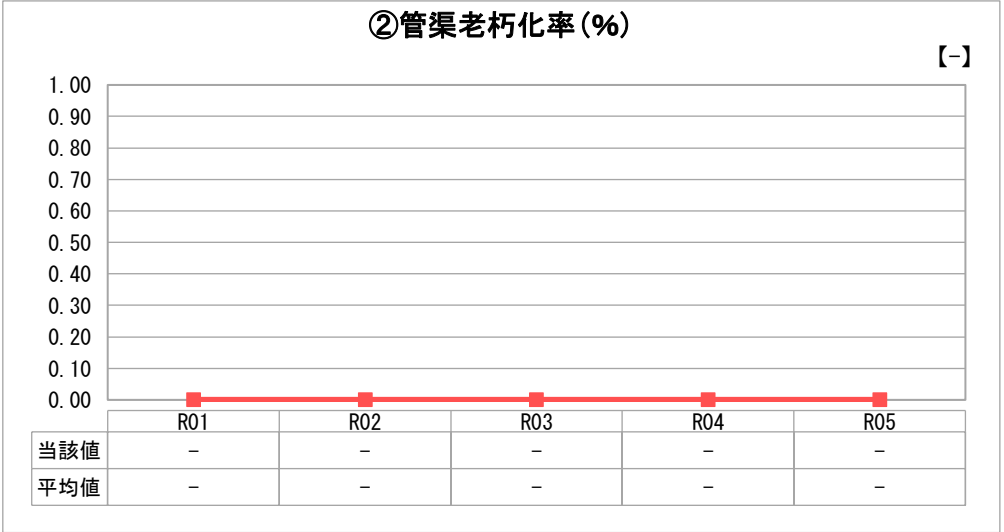
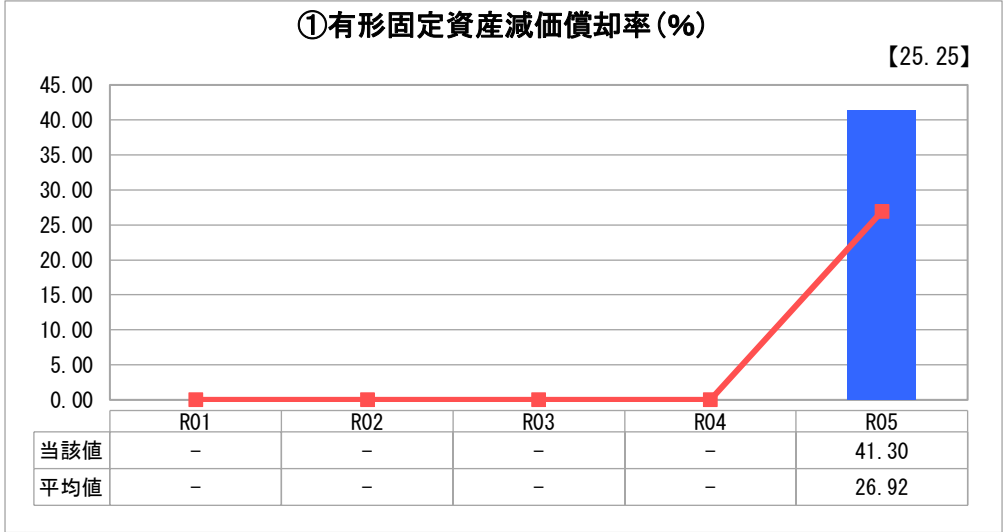
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
1,066,362	786.35	1,356.09
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
4,706	0.00	-

■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

本事業は、生活排水処理の特性、効果や経済性などを考慮し、地域の特性に合わせて、個人の住宅ごとに、公設・公管理型の浄化槽を設置する事業であることから、維持管理や設備投資などの費用を使用料収入で回収することが困難な状況であり、設備投資などについては一般会計からの補助金で一部を賄うこととしています。

そのため、「経常収支比率」や「経費回収率」は100%を下回る値で推移しております。

「企業債残高対事業規模比率」は、事業開始後20年程度であるため、未償還残高が多く、類似団体平均よりも高率で推移していると考えられます。

2. 老朽化の状況について

「有形固定資産減価償却率」は高率で推移しており、管渠以外の施設を中心に老朽化が進んでいることが懸念される状況です。

全体総括

本事業の性質上、赤字経営となりやすい傾向にありますが、公共下水道を中心とした下水道事業全体で経営を行っているため、経営に支障は生じておりません（※）。

しかしながら、本事業においても収支差を縮小させるため、費用の低減に取組み、安定的・効率的な経営に努める必要があります。

※本事業は平成16年度から開始していますが、経営比較分析表は令和5年度決算より作成しています。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。